



FOR HUMANITY,
FOR THE FUTURE



RECRUITING GUIDE





ユニオンツールって なんの会社だろう？

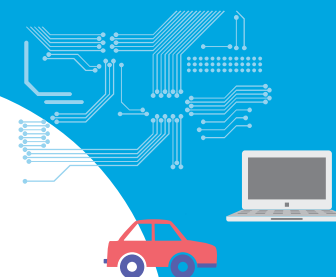
「ユニオンツールってなんの会社？」と問われれば、
その答えはズバリ「切削工具メーカー」です。

主力製品は **PCB ドリル** と **エンドミル** です。

Printed Circuit Board = プリント基板

さて、みなさんはこれらの製品を具体的にイメージできますでしょうか？
PCBドリルやエンドミルはコンビニなどの店頭で並ぶ製品ではないため、
ユニオンツールは一般の方には馴染みがない会社かもしれません。
しかし、実はこれらの製品がなければ、
私たちの暮らしは成り立たないとさえ言えるほど重要なものなのです。
次のページではPCBドリルやエンドミルが
どんなものなのかを簡単にご紹介します。

1 トップクラスの
世界シェアを持っています！



ユニオンツールの
**PCBドリルの
特長**
Printed Circuit Board = プリント基板

2
業界で
1番細いドリルを
造れます！

3
生産設備は自社開発。
市場のニーズをいち早く
生産に活かすことができます！

PCBドリルはプリント基板に穴をあけるための専用工具です。
みなさんが普段何気なく使っている携帯電話、パソコン、
ゲーム機器——こういった電子機器の内部には、プリント
基板と呼ばれる緑色の板があり、電子部品が所せましと配置
してあります。それらの電子部品同士を電氣的に繋ぐには
PCBドリルであけた穴が必要不可欠なのです。PCBドリルに
よる穴あけ加工があるからこそ、電子機器は小さくともたく
さんの機能を発揮することができているのです。



2

金型産業をはじめ、
自動車産業、携帯端末機器、
航空機部品など幅広い分野で
使われています！

ユニオンツールの
**エンドミルの
特長**



1
PCBドリルで培った最先端の
技術力により
開発されました！



3
硬すぎて削るには
不向きとされていた
「超硬合金」も、
当社のエンドミルでは
サクサク削れるように！

エンドミルは「先端の刃」「外周の刃」の2つの刃で、
モノを削って形にするための工具です。家電製品や
プラスチック製品、自動車のボディなど同じ形のもの
を大量生産するには「金型」と呼ばれる型に材料を
流し込んで生産します。その金型を造るのに使われ
るのがエンドミルです。金型の他にも、素材から部品
などを直接削り出す際にもエンドミルは使われます。

ユニオンツール 5つの魅力



1 技術力

生産設備の内製化によるメリット

生産設備の開発を自社で行っており、特にPCBドリルの設備はほぼ100%自社開発です！これにより、高品質の維持と市場への柔軟な対応を同時に実現しています。



2 財務体質

自己資本比率の高さ

設立以来堅実な経営を続け、安定した財務体質を維持しています。その自己資本比率はなんと90%以上！安心して長く働ける環境です。



3 やりがい

やりがいのある仕事を、生きがいに

入社直後からOJTに取り組むので、「現場力」がグングン身に付きます！また、1年目でも担当の仕事を持つので、スキルアップにつながります！やる気次第で海外勤務のチャンスも。



4 アットホーム

合言葉は「社員一丸」

ユニオンツールの特長はなんと言ってもアットホームな雰囲気！社内に名前と顔が一致しない人なんていないくらい、お互いをよく知っています。先輩社員と後輩社員が気さくに交流する社風です。



5 人財育成

会社をつくるのは社員1人ひとり

ユニオンツールでは社員を「人財」とし、その育成に力を入れています！役職に応じた研修や入社後3年間のグローアッププログラムなど、みなさんのキャリアをサポートできる体制を整えています。

0.05mm

ユニオンツールで現在量産に成功しているドリルの直径は0.05mm。私たち人間の髪の毛よりも細いのです。

世界9拠点

東京本社の他、国内、中国、台湾に生産拠点が 있습니다。また、日本各地やアメリカ、スイス、中国、台湾、香港、シンガポール、タイに販売拠点を設け、グローバルネットワークのさらなる構築を目指しています。

業界シェア No.1

ユニオンツールのPCBドリルはシェア国内No.1！1963年にPCBドリルの生産を開始して以来、柔軟に需要にこたえ続け、最新技術をいち早く取り入れてきました。そして今なお業界トップの品質を維持し、先頭を走り続けています。

数字でわかる ユニオンツール

販売本数構成比率

国内 海外
35:65

販売本数の半分以上は海外のもの。これは、ユニオンツールの活躍の場がグローバルであることを意味します。

1998年 東証一部上場

設立以来、高い自己資本比率を維持し続け、安定した収益性を維持してきたことが評価され、1998年に東証一部上場、2022年に東証プライム市場へ移行を果たしました。

女性の育児休業取得率

100%

ユニオンツールでは働くお母さんを応援しており、女性の育児休業の取得率は100%です。出産時にはしっかりと休みをとってもらい、そのあとに復帰することができる環境が整っています。

男性の育児休業取得率

81.8%

男性の育児休業取得も積極的に推奨しています。取得率も増加傾向で将来は女性と同じ100%を目指しています。



私たちの求める人財とは

社会に誠実で、
仕事に対して謙虚で
積極的に向き合う人

広い視野をもち、
新しい取り組みに
挑戦する人

コミュニケーションを
大切に、**チーム力**を
最大限に発揮できる人

自分の考えをもち、
粘り強くしなやかに
行動する人

常に**プロ意識**をもって、
自分を磨き続ける人

決してこのような方でないとは入社できないものではありません。
少しでも該当する項目のある方、こんな人になれたらと共感いただけた方……。

ぜひユニオンツールで働いてみませんか？

これから先も成長し続ける企業であるために、
このような人財に育ってほしいという想いが込められています。

UNION TOOL SPIRIT

TOP Message



代表取締役会長 片山 貴雄

学生 みなさんにお伝えしたいのは、「常に変化し成長していただきたい」ということです。昨今の激動する世界情勢では、会社はその変遷に合わせて素早く変化しなければ生き残ることができません。そして、会社が変化するためには社員1人ひとりが常に新しい知識を身につけることが求められます。

学生 みなさんには、学業はもちろんですが、あらゆる活動に全力を尽くしていただきたく思います。全力を尽くすなかで、容易には越えられない壁が出てくるでしょう。どうすればそれを乗り越えることができるか試行錯誤し、解決策を見出す。解決策を実施するために自身を素早く変化させる。こういった習慣をぜひ今のうちに身につけていただきたく思います。その習慣は「常に世界最高の製品を供給し、社会に貢献する」というユニオンツールの経営理念を実現するための基本姿勢となります。ユニオンツールでは、変化し成長していこうという志を持った学生 みなさんをお待ちしております。



代表取締役社長 大平 博

新入社員の方々に伝えしていることですが、これから社会人となるみなさんに念頭に置いていただきたい3つのことがあります。

1つ目は「ルールと約束を守ること」です。仕事というものは決して1人で完結できるものではありません。他者との連携が必要であり、その連携には信頼が必要になります。ルールと約束を守るとは信頼関係を構築する土台となります。

2つ目は「コミュニケーションを大切にすること」です。ある事実を知ったら、どのようにそれを伝えるかしっかりと考えてください。情報が伝達するなかで、発信者と最終的な受けとり手とでその内容に差異があるようでは、仕事は立ちゆきません。

3つ目は「何事にも挑戦すること」です。目標を作り、努力し、挑戦していく——これが個人を成長させてくれますし、ひいては会社を成長させる原動力になります。

学生 みなさんには、これらを意識し、残る学生生活を有意義なものにしていきたいと思います。

先輩社員のお仕事拝見！

ユニオンツールを支えているのは、意欲と活気に満ちた社員1人ひとり。
そんな先輩社員たちは普段どんな仕事をしているのでしょうか？
6つの職種の先輩たちを見てみましょう。



TATSUYA
IDA

みなさんの入社を
お待ちしております。

井田 達也

座右の銘

やってみないとわからない

PCBドリルの設計・開発および海外のお客様に対する技術サポートが主な担当業務です。お客様の要求を満たす性能を実現するために、各案件に適したドリルの形状や加工条件を日々追究しています。自分が開発に携わったドリルが採用され、製品化された時の達成感はとても素晴らしいものです。何かにトライし、後に無駄に終わったとしても、それが有効でなかったという知見が1つ得られたことになります。一見無駄に思えるようなことでも関きは貴重です。1つ1つ積み重ねていけば必ず目標に届くと信じて、まずはやってみることを大切にしています。

製品開発

「ありがとう」が仕事の活力です！

鈴木 智子

座右の銘 為せば成る

工場と連携をとりながら、ユニオンツールの海外子会社や代理店への出荷手配を行うことが主な業務です。その他には、特殊品の価格の見積り、納期管理、展示会関連のサポート業務も行います。工場の出荷予定を確認し、お客様が急ぎの際は、工場へ納期の前倒し交渉などをします。お客様からの難しい要望に、子会社・工場の方々と協力して応えられたときには達成感を感じます。お客様の要望をかなえたいという気持ちで一丸になって取り組んでいるので、みなさん積極的に協力してくれます。子会社の方からお礼を言っていたりすると、とても嬉しいですね。

営業事務

情報伝達を

しっかりと！



KENJIRO
KOMINE

営業職として代理店やお客様を訪問しています。主に国内のお客様の担当をしていますが、3年目からは海外出張もするようになりました。ユニオンツールは“品質の高さ”をウリにしていますが、製品はもちろん“小峯という人間”を信頼してもらえらるかどうか大事だと思います。そのために私が意識している事は「スムーズな情報伝達」。お客様から頂いた要望は社内の技術部と密に連携しながら対応しなければなりませんので「情報伝達がしっかりできる」ということはとても重要になります。簡単に聞こえるかもしれませんが、これが案外難しいのです。技術部とお客様の間に立ち、上手く問題を解決できたときはとても嬉しいですね。

小峯 健二郎

座右の銘 Simple is best!

営業

笑顔のコミュニケーションを
心がけてます♪

田窪 美帆

座右の銘
為せば成る

PCBドリルの生産計画立案や販売代理店からの海外向け製調整が主な業務です。私はそのツール向け製品の管理を担当海外への輸送は出荷～到着ま思わぬタイミングで注文がに製品を提供できるよう、出クレ、台湾担当者や製造・在庫なコミュニケーションを心掛文にも一丸となって協力し、に出荷できた時はとても嬉しまだ分からないことも沢山でら、新しい事にどんどん挑戦です。

生産手配、海外子会社・品に関する対応や納期の中でも台湾ユニオンしています。で時間がかります。入った場合もスムーズ荷・在庫状況をチェック管理部署とのきめ細かけています。急ぎの注お客様希望納期通りです。すが、日々勉強しながら成長していきたい

生産管理

数字の事なら任せとけ！

治田 一峰

座右の銘 個性が大事

ユニオンツールは上場企業なので、外部の株主・投資家の方々に対して、企業の経営成績や財務情報を開示する義務があります。それに必要な決算書類の作成を行うのが主な業務です。限られた時間の中で作成しなくてはならないという大変さがありますが、全ての書類を作り終えたときには、毎回何とも言えない達成感を感じます。私たちが作成した書類に不備がないかチェックするために、定期的に外部の監査法人の方がいらっしゃるのですが、そちらの対応もしています。また、現在は台湾や上海といった海外の製造子会社を中心に、統一された会計システムの導入を行っています。社内のシステム開発部署と協力して、導入作業がスムーズに進むよう頑張っています。

製造

一緒に
成長していきましょう！

渡辺 賢司

座右の銘 継続は力なり

「刃切り」と呼ばれるPCBドリルの最終加工工程を担当しています。刃切りはユニオンツールの自社開発設備で自動加工されますが、研削油の温度や室温などわずかな環境の変化でも品質に影響してしまうため、品質を保つための微調整が不可欠です。日々の生産数量や設備の稼働状況に注意しつつ、品質維持・向上のために前後の工程と密にコミュニケーションをとるなど、「納期と品質の両立」を考えながら日々の業務にあたっています。海外子会社に向いて技術指導をした際には、教育やコミュニケーションの重要性を改めて実感しました。現在は刃切り工程の係長として部下の教育も大事な仕事ですので、育成する立場の私も一緒にさらに大きく成長していきたいです。



経理



KAZUTAKA
HARUTA

福利厚生

welfare program

誰もが働きやすい職場を目指し、ユニオンツールではさまざまな福利厚生制度をご用意しています。ここではその一部をご紹介します。



事業所内保育所の開園

2017年4月に長岡工場敷地内に事業所内保育所を開園しました。この保育所は従業員はもちろん、社会貢献の一環として近隣住民や近隣企業で働く方々にも利用していただけるよう、「地域開放型保育事業」として長岡市と連携して運営しています。



社内FA制度

一定の要件（在職年数など）を満たせば希望の部署への異動を自由に希望できる制度です。社員の自己実現やキャリアアップをサポートし、社内の活性化を図ることを狙いとしています。



語学研修制度

ネイティブの講師による英語・中国語の語学研修を社内で受けることができます。毎週1回2時間の研修で、初級から上級までレベルに合わせたクラスを用意しています。どなたでも受講可能！



企業年金制度

いわゆる退職金にあたる制度です。確定拠出年金、確定給付企業年金の2本柱で運営しています。異なる2つの制度を用いることで、より安定的に将来への備えを蓄えます。



時短勤務制度

育児休業からの復帰後に利用できる制度です。通常8時間の勤務を始めと終わりの1時間ずつ短縮することができ、家事やお子さんの保育園の送り迎え等と仕事を両立できるような狙いがあります。利用期間は、なんとお子さんが小学3年生の年度末までです。（一般的には3歳までのところが多いです）



社内イベント

新入社員歓迎会、ビアパーティー、忘年会等のイベントが定期的に行われています。レクリエーションやくじ引きを行い景品が当たるなどの楽しい内容が盛りだくさんです。

CSR

corporate social responsibility

ユニオンツールは社会とともに発展していこうという想いをもち、各種活動を行っています。



© Kiyotaka Saito

芸術・文化支援活動

文化芸術振興活動支援を目的として、ピアニストの仲道郁代さんのオフィシャルスポンサーを務める他、交響楽団の賛助会員になるなど音楽活動を通しての社会貢献をしています。また、ユニオンツールが主催するユニオンツールクラシックプログラムは2015年に公益社団法人企業メセナ協議会により、民間組織が取り組むメセナ活動として「This is MECENAT」に認定されました。



クリーン作戦

長岡工場・見附工場で春と秋の年2回実施しています。工場周辺のゴミ拾いや植栽・グリーンベルト（工場を囲む芝生）の草取りを行い、社員だけでなく家族ぐるみの活動になっています。歩道も心もきれいになり一石二鳥！



イルミネーション

長岡工場で毎年クリスマスの時期に合わせて点灯しています。デザインから装飾作業まですべて社員の手で行っており、生産設備内製法の精神がここでも活かしています。装飾には環境に配慮しLEDライト（約40,000個）を使用しています。実は、長岡市の隠れた名所になっている！



花火協賛

毎年8月2日・3日に行われる「長岡まつり大花火大会」では、花火の協賛を行っています。ペスピアス超大型スターマイン（イタリア ペスピオ火山を彷彿させるような連射連発の大型の花火）を協賛し、大会を盛り上げています。機会があればぜひご覧ください！



学術支援活動

公益財団法人ユニオンツール育英奨学会を支援しています。この奨学会は新潟県内の理工系の学生の方々への奨学金の給付（返還義務なし）、ならびに新潟県内の理工系の研究室への研究費の助成をしています。めざせ、将来のノーベル賞！



小学生向けイベントの開催

新潟県にある見附工場では小学生向けのイベントを開催し、ユニオンツールがどんな製品を作っているかを知ってもらっています。当社独自のキラキラのセラミックスコーティングをしたキーホルダー作りでは、みんな真剣！

技術者座談会

ユニオンツールの強みの1つである技術力。それは日々開発に励む技術者によって支えられているといっても過言ではありません。今回は各分野の技術者に集ってもらい、現場のことからユニオンツールの将来までを自由に語っていただきました。ぜひユニオンツールに根付く「ものづくり精神」を感じてみてください。

Q どんなきっかけで開発は始まりますか？

渡邊 実は、ユニオンツールでは正式な「開発プロジェクト」という形で開発が始まることは、あまり多くはないんですね。天啓を得て行う開発というのは、個人レベルでやっていることが多いです(笑)。

星 PCBドリルで言えば、「新しい工具を作ろう」という形ではなく、まずは問題が先にあり、それを解決する目的で開発が始まるが多いです。「製品のライフを延ばさなくてはならない」「これぐらいの品質まで高めなくてはならない」といった諸問題があり、これらをクリアするにはどういった手段があるかを色々試していくことで、結果として新製品が生まれます。

大堀 コーティングも工具開発者からの依頼で開発が始まることが多いですね。例えば、「既存のコーティングでは対応できないので、ダイヤモンドコーティングを適用したいのだが、どうすればよいか？」といった相談がきます。ひとまず既存のダイヤモンドコーティングを施してみ、それで不具合が出るようであれば改善していこうといった形で開発が始まります。

堀口 生産設備の開発も自発的な開発プロジェクトで行うというよりは、会社の方

針に基づいたトップダウンで始まることが多いですね。あとは、製品開発部門や製造現場からくる「こういうデザインに対応した加工装置が欲しい」などといった要望から開発が始まるパターンも多いです。

渡邊 こういった問題解決を目的とした開発で重要なのは、やはりスピード感。どの開発部署も常にスピード感を持って仕事を進めるよう意識しています。

Q 皆さんが技術者として成長できたなと感じるのはどんなときですか？

星 若い頃に経験した「デザインレビュー」は成長できたと思いました。デザインレビューというのは、今まで作ったことのないものを製品化する際の設計プロセスです。満たすべき項目を製造現場の方を交えて評価し、基準を超えているか確認を行っていくのですが、これが結構大変なんです(笑)。「この設計では量産できない」「あのデータはとったのか？」など様々な指摘がでてきます。私はこのデザインレビューの主担当をやらせていただいたのですが、技術開発だけではなく、製造の観点も学ぶことができ、成長のきっかけとなりました。

堀口 私は生産設備が立ち上がったときですね。設備の構想から始まり、設計し、組

立て上げられたとしても、それがすぐ生産に寄与できるわけではないんです。生産設備に求められるものが大きいほど、そこからの苦労も大きくなります。考えに考え、条件を煮詰め、設備をブラッシュアップしていく。そして、それがようやく生産に寄与できるようになったとき、生産設備の技術者としての1つの区切りとなります。その区切りで振り返ってみると、少しは成長したのかなあと感じますね。PCBドリルやエンドミルの開発は、競合他社との競争に勝ったときが一区切りになる感じですか？

星 そうですね。ユーザーの方に認定をいただいたときは、区切りだと感じます。

渡邊 やはり、最終的にユーザーの方に認めてもらわないと何にもならないので。ユーザーの方に「良かったよ」と言ってもらえることが1つの区切りであり、技術者としての喜びと成長を実感できる瞬間ですね。

星 そういえば、渡邊部長はドリルの新型形状開発にも携わっていましたよね？

渡邊 エンドミルを担当する前の話ですね。おかげさまで特許を取らせていただきました(笑)。産みの苦しみはありましたが、良い経験になったと思います。

Q 技術者に必要なものはなんだと思いますか？

大堀 コーティングする膜の組成を変えるには、無限にあるものからピックアップしなければならぬので、ある種のセンス(豊かな発想とも言えます)は必要になります。知識は論文などを読んだりすることで得られますが、設備が変わると出来上がる膜の性能は変わりますので、経験も必要です。センスがある方が経験を積んでいけば、向かうところ敵なしです。

渡邊 エンドミル開発も、お客様からの要望をただ聞いて造っているだけではダメですね。そこから開発に繋がる「匂い」を感じなくてはならないので。そういったセンスを磨くために、工具開発部門から生産設備開発部門に異動したり、製造部門を経験したりしています。こういった経験は5年、10年を見据えたときに必ず活かしてくると思います。

大堀 それと、コミュニケーション能力は必要だと思います。設備の不具合や製品の不具合というのは、どうしても出てきてしまうものです。開発段階から、これらがなぜ発生するかなどを検証し、製造部門としっかり話をしなければ問題を解決することはできません。また、開発が終わり量産化しようとする場合、先ほどの話にもありましたデザインレビューなどで、きちんとした説明ができなければ、「こんな製品は造ることができない」との判断がなされてしまいます。

星 技術者で言えば、いかに製造の方々とコミュニケーションを取れるかが重要ですよな。

大堀 私の場合、いろいろな部署で経験を積ませていただいたのも大きいですね。最初は生産設備を造る工機課という部署にいました。次に品質保証部署、エンドミル開発部署。そして今のコーティング開発部署に配属されました。その過程で築くことができた人間関係が今の仕事でも役に立っています。

星 もちろん、お客様とコミュニケーションを上手に取れるのも重要になりますよね。お客様の求めているものに対して、いかに最適なものを素早く提案できるか。お客様が使っているドリルの価格であったりライフであったりをすべて把握し、提案しなければなりません。加えて、海外のお客様も非常に多くなっていますので、やはり外国語の習得も必要になってきています。

若い頃の海外経験は大きな武器になるんじゃないでしょうか？

大堀 論文もやはり英語で書かれたものが多いので、技術的な内容に触れる際には英語は必須ですよな。ただ、仕事で海外に行くと、そこまで流暢に他言語が話せなくとも意外となんとかなることも多いんです。重要なのは、異文化に飛び込む勇気や好奇心を持つことなんだと思います。

堀口 若い方を見ていると、伸びる方というのは色々なことに興味を持っている方なんです。新しい技術に対してはもちろんですが、色々なものにアンテナを張って吸収している方というのは3年、5年と経つとぐっと伸びてきますので、好奇心というのはとても重要だと思います。

大堀 そのために、学生の頃には学業以外の経験も色々と積んでいた方が良いでしょう。

渡邊 私は、しっかりとした自分の信念を持つことも必要だと思います。ここは絶対に譲れないという部分です。それは間違っている、自分で気付いたときに直せば良いと思うんですよ。大事なのは、自分の思っていることをきちんと主張できる心構えですね。

Q ユニオンツールの技術開発は今後どのように変わっていくとお考えですか？

星 PCBドリルのライバルと言えばレーザーが挙げられますが、大体の住み分けができています。レーザーで加工する製品、ドリルで加工する製品、これらは一時期よりは競合しなくなってきました。ただ、レーザー加工をするに当たり、品質や設備投資を考えると、やはりドリルでレーザーのような加工をしたいというニーズもあります。そういったニーズに対し、既存の技術で立ち向かっていこうとすると正直厳しいものがありますが、そこをクリアし、お客様の設備でレーザーのような加工のできるドリルをいかに提供するかというのが課題ではあります。その答えの1つがコーティングだったと思います。

大堀 今後もユニオンツール独自のコーティング膜の開発を目指すつもりです。コーティング設備で言えば、他社で使用しているようなコーティング炉を自社開発できるところまでできました。設備もユニオン

ツール独自のものを造るところに着手していきたいですね。

渡邊 生産設備の面から話をさせていただくと、星部長や私がユーザーの方を連れて工場見学を行いますと、「こんな設備まで自社でお造りになられているんですか!？」と驚かれることが多いですね。その際に、私が「これは会社のポリシーであり、生産設備開発に携わる技術者は50名を超えています」と回答をすると、さらに驚かれます。生産設備の開発担当者として、その辺はどう感じられますか？

堀口 ユニオンツールの企業風土として「なんでも造ってしまえ」というものがあるんですよ(笑)。先ほどの大堀さんのお話にもありましたが、コーティング炉に関しても5年ほど前には自社では造っていませんでしたし。こういった風土では苦労も多いですが、やりがいを感じます。

渡邊 はっきり言ってしまえば、外部から設備を購入してきた方がスピード感はあるはずなんです。ただ、それでは独自性は生まれない。自分たちでなんでも造るからこそ違った方向性が見えてくるのだと思います。ユニオンツールの技術開発は、今後も他社との差別化を図り、独自性を追求していくのではないのでしょうか。

堀口 新しい価値をどのように創造していくかを考えたとき、ユニオンツールには経営方針がありまして。「優れた製品を供給し社会に貢献し会社と社員の永遠の繁栄をはかる」という経営方針なんですな。この「優れた製品」とは性能や品質が高いものだけを指しているわけではありません。まさしくユニオンツールの事業内容と合致するのですが、セオドア・レビット博士の著書「マーケティング発想法」の冒頭に「ドリルを買う人が欲しいのは『穴』である」という格言があります。お客様が工具を買ってくださるのは、その工具を使って加工することにより得られる製品の品質であったり、競争力であったり、問題解決であったり、新しい可能性が欲しいわけであって。そういった価値を提供できる工具が本当の意味での優れた製品なんだと思います。ユニオンツールは、今までも工具のデザインやコーティング開発をととして新しい価値を提案してきましたが、今後はさらにスピード感を持って新しい価値の創造を行っていくことが重要になると思いますな。

第二工具技術部
部長
渡邊 英人
担当業務：
エンドミルなどの開発・改良

第一工具技術部
部長
星 幸義
担当業務：
PCBドリルなどの
開発・改良

技術開発課
大堀 鉄太郎
担当業務：
コーティングなどの
要素技術開発

生産技術部
部長
堀口 貴之
担当業務：
生産設備などの開発・改良

会社概要

社名	ユニオンツール株式会社(英文名: UNION TOOL CO.)
事業内容	切削工具(プリント配線板用超硬ドリル・ルーター)、直線運動軸受、エンドミル、測定機器等 金属加工機械の製造・販売
本社所在地	〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-1
設立	1960年
資本金	29億9,850万円
上場市場	東証プライム市場
従業員	852名(グループ計 1,450名)
売上高	253億(2023年12月連結実績)
平均年齢	41.6歳

待遇

初任給	(2024年度実績) 大学院了／258,000円 四大卒／240,000円 高専卒／204,000円
諸手当	通勤手当(当社規定により全額支給)、時間外勤務手当、営業・技術手当、扶養手当、食事手当 など
昇給	年1回(4月)
賞与	年2回(6月・11月)
勤務時間	長岡・見附工場／8:00～16:45 東京本社・各営業所・三島研究所／9:00～17:45 (昼休み45分)
休日休暇	年間休日124日
待遇・福利厚生	○保険/健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
社内制度	○制度/持家利息支援制度、社員持株会、退職金制度、資格取得支援制度、育児短時間勤務制度、時間単位年休制度 ○施設/保養所(新潟県越後湯沢)、ラフォーレ倶楽部法人会員(軽井沢・白馬・那須等)
教育制度	新入社員教育、階層別教育、品質管理教育、外国語語学研修 など

ネットワーク

国内事業所	海外子会社
●東京本社	●U.S. UNIONTOOL,INC.(米国)
●長岡工場・テクニカルセンター・営業所	●UNION TOOL EUROPE S.A.(スイス)
●見附工場	●TAIWAN UNION TOOL CORP.(台湾)
●三島研究所	●UNION TOOL (SHANGHAI) CO.,LTD.(上海)
●北関東営業所	●DONGGUAN UNION TOOL LTD.(東莞)
●安城営業所	●UNION TOOL HONG KONG LTD.(香港)
●名古屋営業所	●UNION TOOL SINGAPORE PTE LTD.(シンガポール)
●大阪営業所	●UNION TOOL (THAILAND) CO.,LTD.(タイ)
●静岡営業所	

問い合わせ先	東京の採用について 総務部総務人事課 採用担当 〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-1 TEL:03-5493-1001 FAX:03-5493-1002	長岡の採用について 総務部長岡総務人事課 採用担当 〒940-1104 新潟県長岡市摂田屋町字外川 2706-6 TEL:0258-22-2620 FAX:0258-22-0045
	交通機関 東京本社 JR京浜東北線 大森駅より 徒歩1分 京浜急行線 大森海岸駅より 徒歩10分	交通機関 長岡工場 JR長岡駅より 車で約15分 長岡I.C.より 車で約20分
	URL https://www.uniontool.co.jp/	

沿革

1960	株式会社ユニオン化学研究所設立
1970	本社ビル新築
1971	ユニオンツール株式会社と改称
1976	旧長岡工場開設 クロスドロローラーガイドの専用工場とする
1979	長岡第一工場新設・移転
1980	長岡第一工場増設
1981	米国現地法人MEGATOOL INC. 設立
1982	大阪営業所開設
1983	本社ビル増設、長岡営業所開設
1985	長岡第二工場新設、台湾現地法人TAIWAN UNION TOOL CORP. 設立
1986	欧州現地法人UNION TOOL EUROPE S.A. 設立
1988	厚木営業所開設、長岡工場熱処理棟新設
1989	日本証券業協会店頭市場へ株式公開
1990	東京工場新設、移転
1991	長岡第三工場新設
1994	名古屋営業所開設
1995	中国現地法人UNION TOOL(SHANGHAI) CO.,LTD. 設立
1996	東京証券取引所二部上場、本社移転、三島研究所開設
1997	長岡第四工場新設、香港現地法人UNION TOOL HONG KONG LTD. 設立
1998	東京証券取引所一部上場
2000	シンガポール現地法人UNION TOOL SINGAPORE PTE LTD. 英国現地法人UNION TOOL UK LIMITED 設立 環境マネジメントシステムISO14001の認定取得
2001	長岡第五工場新設
2002	中国現地法人DONGGUAN UNION TOOL CORP. 設立
2003	中国(上海市外高橋)現地法人 UNION TOOL (WAIGAOQIAO SHANGHAI) CO., LTD. 設立
2004	テクニカルセンター新設 米国現地法人MEGATOOL INC. から U.S. UNION TOOL, INC. と改称
2005	安城営業所、広島営業所開設
2006	見附工場開設
2008	北関東営業所開設
2009	シンガポール現地法人タイ駐在事務所を設立 台湾現地法人TAIWAN UNION TOOL CORP. 第三工場を増設
2010	U.S. UNION TOOL, INC. 移転
2011	本社ビル新築
2012	DONGGUAN UNION TOOL LTD. 移転
2016	見附第二工場を新設
2017	地域開放型事業所内保育所「ゆにおんの杜 南陽保育園」を開設 タイ現地法人 UNION TOOL (THAILAND) CO.,LTD. 設立
2022	東京証券取引所 新市場区分「プライム市場」へ移行 UNION TOOL SINGAPORE PTE LTD. 移転
2023	静岡営業所開設
2024	見附第三工場新設

OTHER PRODUCTS

PCB ドリル、エンドミルの他にもこんな製品を扱っています。

60 年で培った技術力。さらにその先へ・・・



転造ダイス

ネジや歯車を製造する工具。独自の設計により、安定した精度、面粗さ、長寿命の製品を提供している。



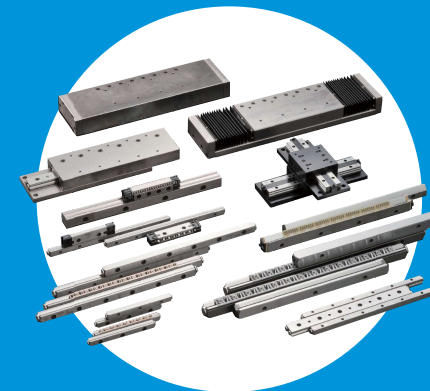
デジタル測定器

PCB ドリルの厳しい品質管理を実現するために誕生。0.1 μm 単位の測定が可能。



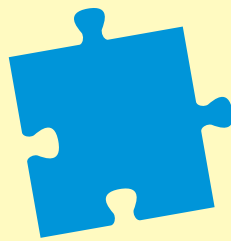
生体センサ

心拍数等の測定が可能。介護やメンタルヘルスなどの分野でも活躍が期待されている。



直線運動ローラー軸受

物体を直線移動(スライド)させるための部品。自社製の生産設備をはじめ、測定装置や医療機器など高精度を求められるものに用いられている。



Who's next?